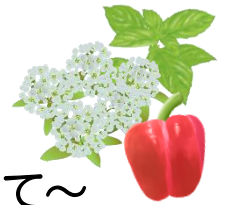


# 食べられる花と野菜の寄せ植え作り

～ミニパプリカ、ブッシュバジル、アリッサムを使って～



## 【材料】

- ①鉢底石 はちそこいし 0.5 リットル程
- ②培養土 (野菜用) ばいようど やさいよう 7.5 リットル程
- ③ミニパプリカ苗 なえ かぶ 1株
- ④アリッサム苗 なえ かぶ 1株
- ⑤ブッシュバジル苗 なえ かぶ 1株
- ⑥鉢 (直径33センチ) 1個
- ⑦鉢底ネット 1枚
- ⑧支柱 しちゅう 1本
- ⑨土すくい 1個
- ⑩はさみ 1個
- ⑪支柱用紐 しちゅうようひも 40センチ程

公益財団法人ちとせ環境と緑の財団  
千歳市本町3丁目21番地  
電話 22-1117 ファックス 22-1118  
<https://www.chitosekankyou-midori.or.jp/>



財団ホームページ



## 【作り方】

(1) 鉢穴の上に鉢底ネットを置き、鉢の下の線まで鉢底石を入れます。



(2) 培養土を鉢の深さの1/3程のところまで入れて、苗を並べてみます。



(3) 培養土の上に苗を並べレイアウトを決めましょう。

背が高くなるミニパプリカを奥側に、こんもりと鉢の縁からこぼれるように広がるアリッサムを手前にしてレイアウトし、土の高さは鉢の上から3cm程度の余裕（ウォータースペース）をもたせるようにします。



【ウォータースペースについて】

鉢全体に水を浸透させるための空間のことをいいます。

鉢の縁ギリギリまで用土が入っていると、水やりのときに、土と水がいっしょに外にあふれてしまうので、縁から3cm程度、表土を下げたて植栽します。

(4) 根に触らないようにビニールポットを逆さまにし、ポットから苗を外します。

まず、ミニパプリカ苗を植え、その横にブッシュバジル苗、最後にアリッサム苗の順番で、土の表面の高さを揃えて植えます。それぞれの苗の根元の土を上から、手で優しく押さえます。



(5) ミニパプリカ苗には支柱を立てます。苗のすぐ横に支柱をしっかりと鉢底まで挿し、麻紐で縛ります。苗を縛る時は、茎を傷つけないようにふんわりと余裕を持たせます。 植栽が終わったらすぐに鉢底から水が流れるくらい、たっぷり水をあげます。



できあがった寄せ植え



### 【手入れの方法】

水は土の表面が乾いてからあげるようにします。  
葉には気こう（植物が呼吸するための通路）があるため、上から水をかけると、はねた土が葉についてしまい病気や生育不良の原因になります。

水やりのときにはジョウロの先を低く土の表面ぎりぎりに近くして、特に苗が小さなうちは気をつけながらあげるようにしましょう。

ミニパプリカは、一番最初の花を摘み、そこから下のわき芽（一番花より下の葉元にある芽）をすべて摘みます。

かわいそうに思うかもしれませんが、栄養が実についてしまうと株が大きくなれないので、まずは株を大きくする方にエネルギーを使ってもらうために摘花します。ミニパプリカは最初ピーマンのような緑色ですが、熟してくると赤色になります。最初のうちは緑色の実を収穫すると、株に負担がかからないので長い期間収穫を楽しむことができます。

緑色のミニパプリカも食べられます。肥料は最初のうちは必要ありません。ミニパプリカに実がなったら液肥を1週間に1回くらい、水やりのときにあげます。



### 【コンパニオンプランツについて】

相性のいい2種類以上の植物を一緒に植えると、生育が良くなったり、病害虫が減ったりする植物同士のことを「コンパニオンプランツ」といいます。

ミニパプリカはナス科、ブッシュバジルはシソ科、アリッサムはアブラナ科の植物で、一緒に植えると、害虫を遠ざけたり生育を促進する効果が期待できます。

アリッサムに花が咲くと、昆虫がやってきてミニパプリカの受粉を助けてくれる効果もあります。

### 【食べ方】

アリッサムは花を摘んで、ブッシュバジルは葉を摘んで、ミニパプリカは実を摘んでサラダなどにして食べます。

今回植えた3種類の植物は、サラダにして食べるのが一般的ですが、スパゲティやピザなどもよいでしょう。お好みの方法で収穫を楽しんでみてください。

